

明治ホールディングス株式会社

2024年11月14日

報道関係者各位

日本で初めてメタン削減飼料「Bovaer®(ボベアー®)」を利用した ファームノートグループ牧場における実証実験を開始

明治ホールディングス株式会社（代表取締役社長 CEO：川村 和夫・以下、明治 HD）と株式会社ファームノートホールディングス（代表取締役：小林 晋也・以下、ファームノート HD）は、このたび日本で初めてボベアー®を利用した酪農分野の温室効果ガス（GHG）削減に関する実証実験を開始することを決定しました。

ボベアー®は既に世界約 64 カ国で乳牛、肉牛に対する飼料添加物としての使用が承認されており、牧場における給与も開始され、呼気メタンの削減に貢献しています。日本ではこのたび、農水省より飼料添加物としての認可が下りて使用可能となりました。これを受け、ファームノート HD の完全子会社である株式会社ファームノートデーリィプラットフォーム（代表取締役：平 勇人）が所有する牧場において、実際の現場における作業性などの実証実験を行うこととしました。開始時期は 2024 年 12 月を予定しています。

昨今、地球温暖化が社会問題となっており、その原因の一つとして GHG が挙げられます。酪農業においては、主に牛の消化管内で発生するメタン（一般的に「ゲップ」に含まれるメタン）が代表的であり、環境への影響も大きい GHG であることが分かっています。ボベアー®は、dsm-firmenich AG（CEO：ディミトリ・ド・ブリーズ・以下、DSMF）が 10 年以上の年月を費やして研究開発した、乳牛、肉牛、羊、ヤギなどの反すう動物向けの飼料添加物です。牛 1 頭 1 日当たり、小さじ 1/4 杯のボベアー®を与えることで、消化管内由来メタンの排出量を約 30%削減できます。

DSMF と明治 HD は、日本の酪農現場において、酪農家がボベアー®を使用することで、GHG 排出量が実質的に削減されることを目指しています。今回の実証実験を行いながら、持続可能な酪農業の実現に貢献していきます。

【参考情報】

- ・株式会社ファームノートホールディングスについて

<https://farmnote-hd.com/>

ファームノートグループは「技術革新を通じて、持続可能な豊かさに貢献する」ことを目指し、完全子会社の株式会社ファームノートを通じて、酪農・畜産（乳用牛・肉用牛生産者）向けのDXソリューションや遺伝・育種改良関連商品の提供により、生産現場の生産性と経営の改善を支援しています。中でも、酪農生産者向けに乳牛から遺伝子情報（ゲノム）を採取し、その解析結果をクラウドで提供するサービス「Farmnote Gene（ファームノート ジーン）」は、国内遺伝子検査市場の約3割のシェアを獲得し、酪農DXを加速させています。

また、完全子会社の株式会社ファームノートデイリープラットフォームでは、自社牧場を立ち上げ、サステナブル酪農に向けたさまざまな取り組みの実証実験の実施だけではなく、実際の酪農経営を実践しながら、インターネット技術だけではアプローチできない課題へのアプローチを行い、新しい酪農畜産の形を作っています。また、生産者に外からアプローチするだけでなく、自らが生産者となることで内外から酪農畜産業界の活性化を加速させています。

株式会社ファームノートホールディングスの事業概要

<https://farmnote-hd.com/group/>

株式会社ファームノートデイリープラットフォーム

<https://farmnote-dp.jp>

- ・メタン削減飼料「ボベアー®」による酪農のサステナビリティ向上に向けた協業を開始

https://www.meiji.com/pdf/news/2024/240508_01.pdf

- ・持続可能な酪農乳業を目指す明治グループ

<https://www.meiji.com/sustainability/dairy/>

以上